

「せとうち発見の道」企画展

「面浄瑠璃と無形の文化財

～継承されたもの、されなかったもの～」

2019年2月26日（火）～5月24日（日）

瀬戸内市民図書館

かつて、面浄瑠璃という芸能が瀬戸内市に存在し、その演者であった太田稔は岡山県の重要無形民俗文化財の保持者に認定されていました。しかし、現在は行われておらず、面浄瑠璃の存在そのものも知る人が少なくなっています。

本展では、面浄瑠璃の紹介を中心に、瀬戸内市の無形文化財、無形民俗文化財をとりあげながら、継承されたもの、されなかったものを再発見します。



無形の文化財とは？

「無形文化財」は、演劇や工芸技術など無形の文化的遺産を言い、その技術をもつ人を技術保持者として認定します。なかでも、国が認定した重要無形文化財の保持者を「人間国宝」と呼んだりします。

一方、地域で伝えられてきた伝統的な行事や芸能などを、「無形民俗文化財」と呼びます。寺社の行事も多いのですが、地域の歴史・文化に根差した、地域の個性を物語るものでもあります。地域のつながりを維持する役割も果たしてきました。

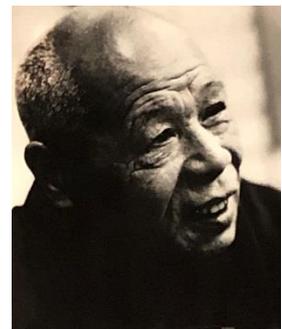
伝統的な地域の行事を継承する努力の中には、伝統行事が果たしてきたそうした役割を継承するという意味が含まれているのかもしれませんが。

瀬戸内市には、岡山県の重要無形文化財に認定された陶芸家が3人います。また、伝統行事や芸能を認定した重要無形民俗文化財が7件(県指定4件、市指定3件)あります。

太田稔の面浄瑠璃

太田 稔（おおた・みのる）は、明治35年（1902）、瀬戸内市邑久町豊原の円張（えんばり）に生まれました。当時の円張地区周辺は、地下芝居（じげしばい）や面芝居などの芸能が農村の娯楽として盛んに行われていました。稔は、11歳のときに地下芝居の子役として出演したのが初舞台であったといえます。その後、西大寺地区にいた振付師に弟子入りし、本格的に芸の手ほどきを受けました。

面浄瑠璃は、はじめは座敷のような場所で、やがて小屋や劇場で演じられるようになりました。早替わりによる一人芝居で、演出や道具も太田稔の独創的な工夫で磨き上げられ、他に類を見ない邑久の面浄瑠璃が完成されました。

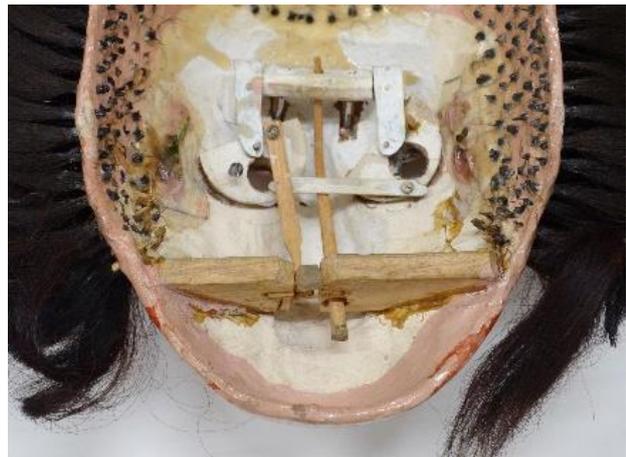


昭和 47 年（1972）、太田稔は岡山県重要無形民俗文化財の技術保持者に認定されました。県外でも公演が行われるようになり、昭和 55 年（1980）3 月、国立劇場で開催された第 20 回民俗芸能公演に招待されました。平成 2 年（1990）、稔の逝去により面浄瑠璃は途絶えています。

面は、粘土でつくった原型に和紙を貼り重ねて乾燥させ、胡粉（ごふん）と膠（にかわ）を混ぜたものを塗り重ね、絵具などで彩色して作られたものです。顔に保持するため、裏側に口でくわえるための板が渡してあります。舌などで操作して眉毛や目玉を動かせるようにしたものもあります。

衣裳は、早替わりをするため前身（まえみ）だけのものを作っています。

面浄瑠璃に使われた面



面の裏側

口でくわえるための板がわたされ、目や眉毛を動かすために舌で操作できる仕掛けになっています

黒井一楽と虫明焼

瀬戸内市独自の伝統工芸品である虫明焼（むしあげやき）制作の技術保持者として、黒井一楽（くろい・いちらく）が岡山県重要無形文化財に認定されていました。

虫明焼は、江戸時代の後期ごろから瀬戸内市邑久町虫明の地で始められ、現代まで受け継がれてきた陶芸です。岡山藩家老の伊木氏が御庭窯（おにわがま）として始めたものと言われており、幕末の茶人としても名高い伊木三猿齋（いぎ・さんえんさい）は、みずから作陶し、また、京都から清風与平（せいふう・よへい）を招くなどして、虫明焼の名を高めました。

その後、紆余曲折を経ながらも、現代まで虫明の地で続けられています。

黒井一楽は、大正3年（1914）、虫明に生まれました。本名は一男。二代目横山香宝（こうほう）に師事し、昭和9年（1934）に独立、黒井山入口に窯を築きました。その技能は高く評価され、昭和55年（1980）岡山県重要無形文化財（虫明焼制作技術）の技術保持者に認定されました。

さらに、山陽新聞文化功労賞、岡山県知事表彰（優秀技能者）、労働大臣表彰（卓越技能者）、岡山県三木記念賞などを受賞し、紺綬褒章などを受けています。平成8年（1996）2月逝去。享年81歳。その後、虫明焼の制作技術は数人の陶芸家に受け継がれ、なかでも子息の黒井千左は、岡山県重要無形文化財の技術保持者に認定されています。



黒井一楽作 虫明焼茶碗

瀬戸内市内の無形文化財・無形民俗文化財					
【岡山県認定の重要無形文化財】(3件)					
	指定種別	指定年月日	件名	所在地	管理者
1	無形文化財	1996年7月30日	備前焼製作技術(森才蔵)	牛窓町長浜	森才蔵(陶岳)
2	無形文化財	2011年3月4日	虫明焼製作技術(黒井完治)	邑久町虫明	黒井完治(千左)
3	無形文化財	2019年3月	備前焼製作技術(隠崎隆一)	長船町磯上	隠崎隆一 (かくれざきりゅういち)
【岡山県指定の重要無形民俗文化財】(4件)					
	指定種別	指定年月日	件名	所在地	管理者
1	無形民俗文化財	1957年5月13日	弘法寺 跣供養 (こうぼうじ ねりくよう)	牛窓町千手	弘法寺
2	無形民俗文化財	1960年8月23日	唐子踊(からこどり)	牛窓町牛窓	保存会
3	無形民俗文化財	1960年8月23日	太刀踊(たちおどり)	牛窓町牛窓	綾浦区
4	無形民俗文化財	2001年3月23日	粟利郷太刀踊 (あわりごうたちおどり)	牛窓町長浜	保存会
【瀬戸内市指定の重要無形民俗文化財】(3件)					
	指定種別	指定年月日	件名	所在地	管理者
1	無形民俗文化財	2004年11月1日	ししこま	牛窓町牛窓	保存会
2	無形民俗文化財	2004年11月1日	ト祭(筒粥神事) ぼくさい(つつがゆしんじ)	牛窓町長浜	春日神社
3	無形民俗文化財	2004年11月1日	如法経法会(投げ銭供養) によほうきょうほうえ(なげせんくよう)	邑久町庄田	朝日寺

※瀬戸内市教育委員会の資料より